

「令和8年熊本地震」の地震活動

2026年7月28日16時27分に熊本県熊本地方の深さ16kmでM7.1の地震（最大震度7）が発生した。この地震の後、今回の地震活動域では、地震活動が活発となった。

今回の地震活動域は、北東－南西に伸びる50km程度の範囲に広がっている。8月末現在、この領域の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。

今回の地震活動域付近では8月に震度1以上を観測した地震が、301回（震度5弱：1回、震度4：6回、震度3：22回、震度2：56回、震度1：216回）^(注)発生した。8月に発生した最大規模の地震は、6日07時59分に発生したM5.1の地震（深さ12km、最大震度4）である。この地震の発震機構（CMT解）は北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。また、8月に最大震度を観測した地震は1日21時47分に発生したM4.7の地震（深さ11km、最大震度5弱）である。これらの地震は地殻内で発生した。

今回の地震活動により、死者38人（災害関連死の可能性のある死者を含む）、負傷者368人、住家全壊1,796棟、半壊3,457棟などの被害が生じた（被害は2026年8月31日17時00分現在、総務省消防庁による）。

（注）掲載している地震回数は、後日の調査でさらに変更になることがある。

表 「令和8年熊本地震」による被害状況
（令和8年8月31日17時00分現在、総務省消防庁による）

都道府県	人的被害					住家被害			
	死者※	負傷者			合計	全壊	半壊	一部破損	合計
		重傷	軽傷等	小計					
		人	人	人	人	棟	棟	棟	棟
福岡県		1	1	2	2			8	8
熊本県	38	33	331	364	402	1,796	3,457	30,985	36,238
大分県			1	1	1				
鹿児島県			1	1	1				
合 計	38	34	334	368	406	1,796	3,457	30,993	36,246

※災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡した可能性のある死者2人を含む

2000年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動域の周辺（領域 a）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。「平成28年（2016年）熊本地震」では、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。

震央分布図

(2000 年 10 月 1 日～2026 年 8 月 31 日
深さ 0～20km、 $M \geq 2.0$)

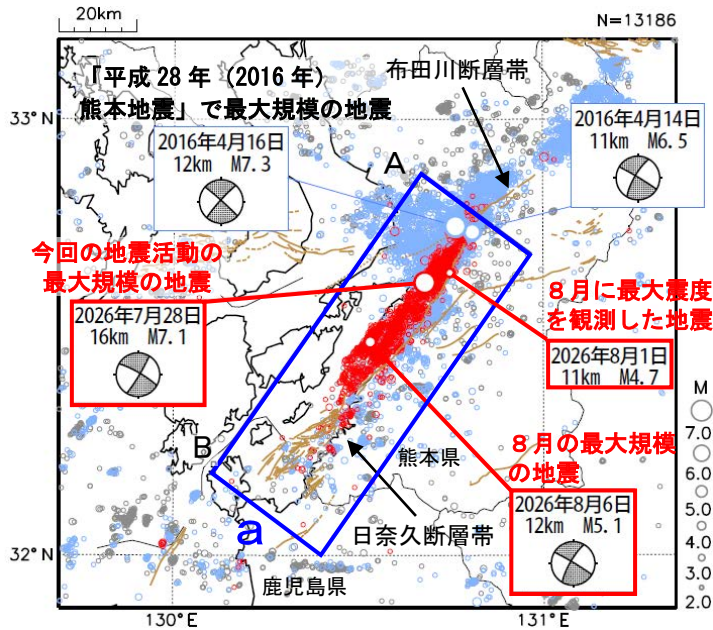
2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○

2016 年 4 月 14 日 21 時以降の地震を水色○、

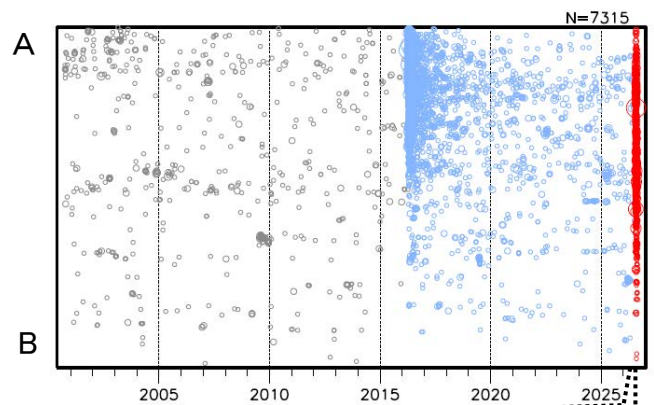
2026 年 7 月 28 日 16 時以降の地震を赤色○で表示

茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

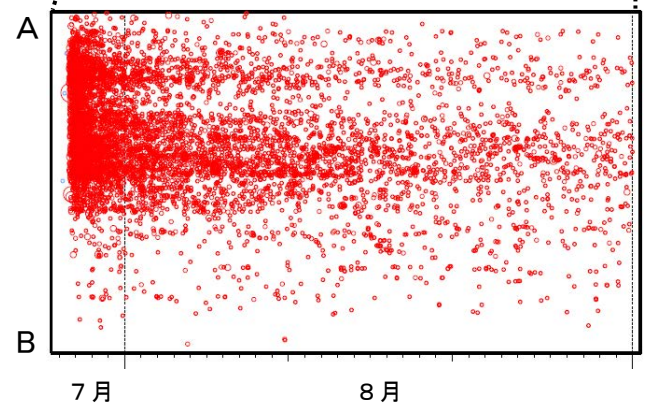
図中の発震機構は CMT 解



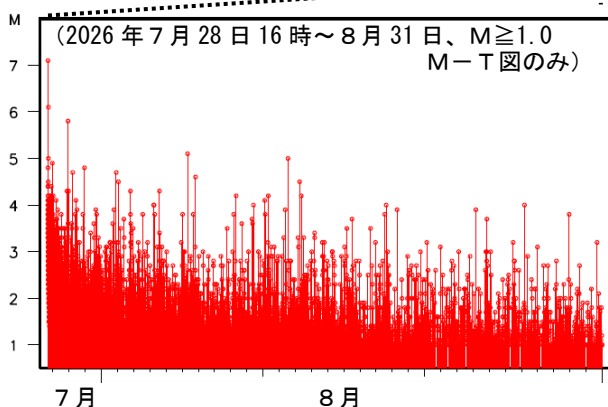
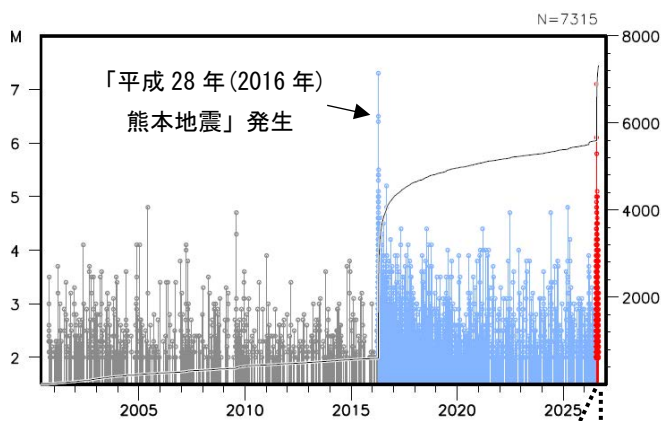
領域 a 内の時空間分布図（A－B 投影）



(2026 年 7 月 28 日 16 時～8 月 31 日、 $M \geq 1.0$)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



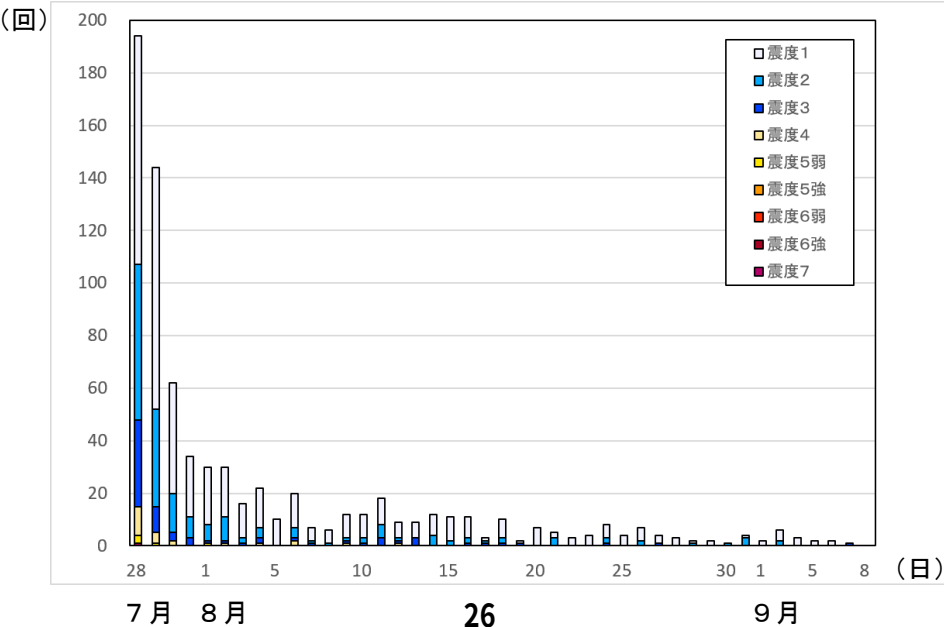
令和8年8月 地震・火山月報（防災編）

「令和8年熊本地震」の日別最大震度別地震回数表（9月8日08時時点）

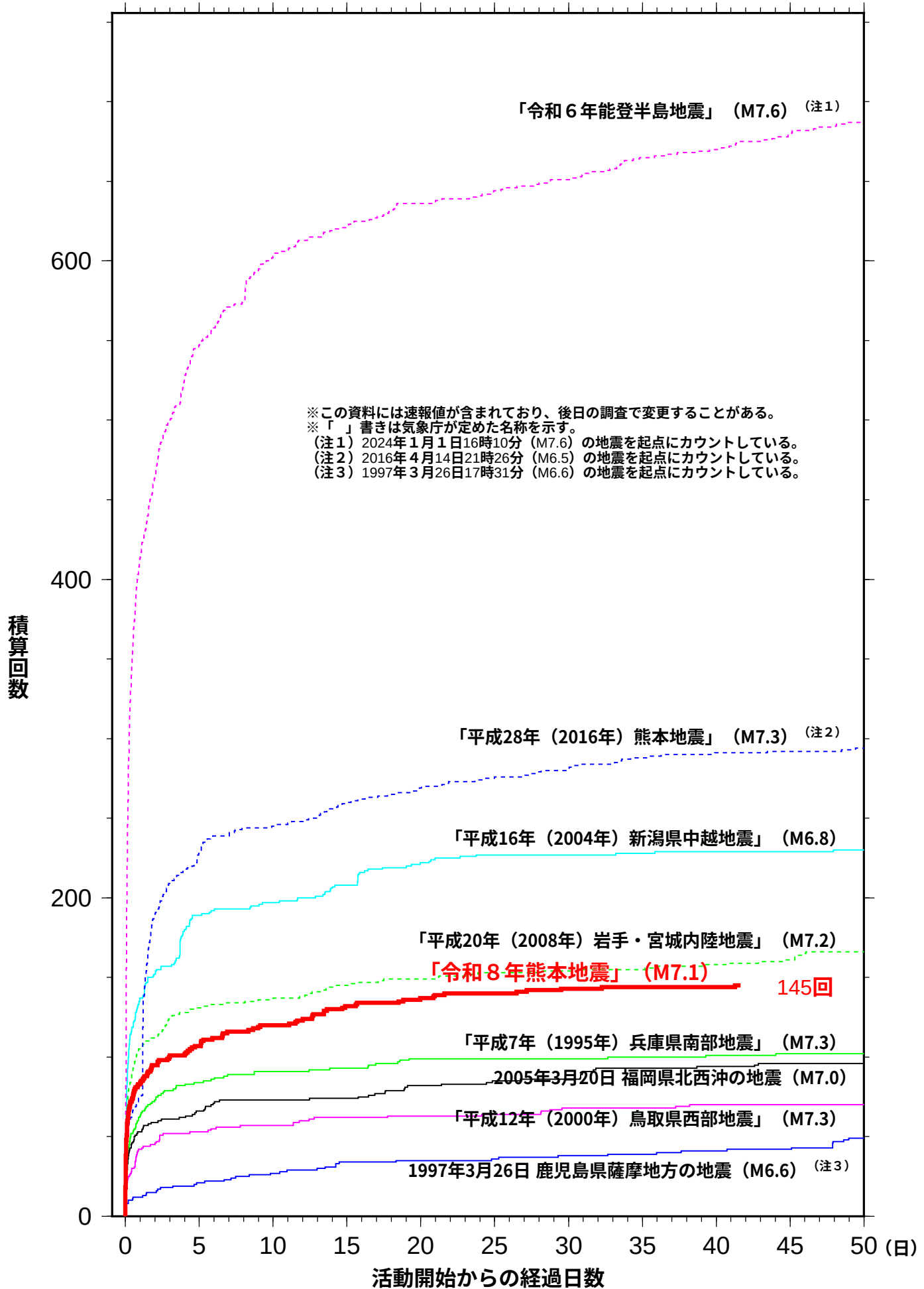
月	日	時	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数	
			震度 1	震度 2	震度 3	震度 4	震度 5弱	震度 5強	震度 6弱	震度 6強	震度 7	合計	累計	
7	28	16-24	87	59	33	11	3	0	0	0	1	194	194	
	29	00-24	92	37	10	4	1	0	0	0	0	144	338	
	30	00-24	42	15	3	2	0	0	0	0	0	62	400	
	31	00-24	23	8	3	0	0	0	0	0	0	34	434	
8	1	00-24	22	6	1	0	1	0	0	0	0	30	464	
	2	00-24	19	9	1	1	0	0	0	0	0	30	494	
	3	00-24	13	2	1	0	0	0	0	0	0	16	510	
	4	00-24	15	4	2	1	0	0	0	0	0	22	532	
	5	00-24	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	542	
	6	00-24	13	4	1	2	0	0	0	0	0	20	562	
	7	00-24	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	569	
	8	00-24	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	575	
	9	00-24	9	1	1	1	0	0	0	0	0	12	587	
	10	00-24	9	2	1	0	0	0	0	0	0	12	599	
	11	00-24	10	5	3	0	0	0	0	0	0	18	617	
	12	00-24	6	1	1	1	0	0	0	0	0	9	626	
	13	00-24	6	0	3	0	0	0	0	0	0	9	635	
	14	00-24	8	4	0	0	0	0	0	0	0	12	647	
	15	00-24	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	658	
	16	00-24	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11	669	
	17	00-24	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	672	
	18	00-24	7	2	1	0	0	0	0	0	0	10	682	
	19	00-24	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	684	
	20	00-24	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	691	
	21	00-24	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	696	
	22	00-24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	699	
	23	00-24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	703	
	24	00-24	5	2	1	0	0	0	0	0	0	8	711	
	25	00-24	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	715	
	26	00-24	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7	722	
	27	00-24	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	726	
	28	00-24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	729	
	29	00-24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	731	
	30	00-24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	733	
	31	00-24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	735	
9	1	00-24	1	3	0	0	0	0	0	0	0	4	739	
	2	00-24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	741	
	3	00-24	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	747	
	4	00-24	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	750	
	5	00-24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	752	
	6	00-24	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	754	
	7	00-24	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	755	
	8	00-08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	755	
合計			474	180	72	23	5	0	0	0	1	755		

※掲載している地震回数は、後日の調査でさらに変更になることがある。

震度1以上の日別地震回数グラフ（2026年7月28日16時～9月8日08時）



令和8年8月 地震・火山月報（防災編）
 地殻内で発生した主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード3.5以上）
 (回) 2026年09月08日08時00分現在



震央分布図

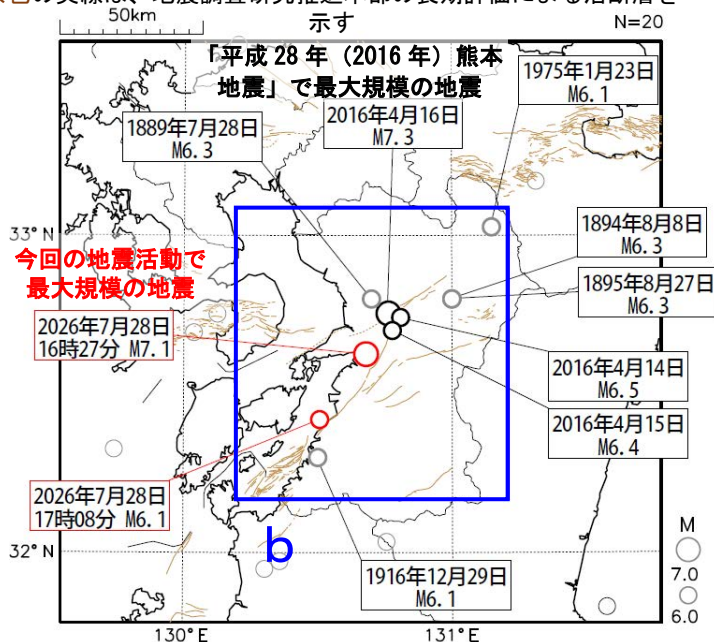
(1885 年 1 月 1 日～2026 年 8 月 31 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 6.0$)

2016 年 4 月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○

2016 年 4 月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○、

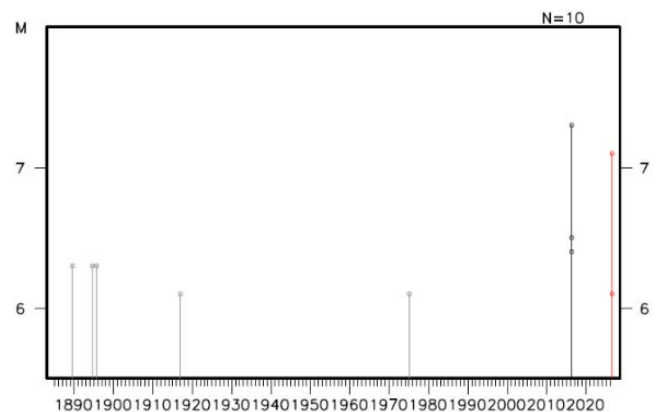
2026 年 7 月 28 日 16 時以降に発生した地震を赤色○で表示

茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す N=20



1885 年以降の活動をみると、今回の地震活動域の周辺（領域 b）では M6.0 以上の地震が今回の地震活動を含めて 10 回発生している。1889 年 7 月 28 日に発生した M6.3 の地震により、死者 19 人、負傷者 53 人、家屋全倒 234 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図



(震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津
(2001)、宇津 (1982, 1985) による※)

※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年，震研彙報，57，401-463.

宇津徳治 (1985): 日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表: 1885 年~1980 年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642.

茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，657pp.